

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0301001

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	固定資産台帳経年変化補正更新委託業務	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	土地・家屋データ異動件数		#N/A	
事業目標	土地・家屋異動全件処理	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	2 地方税法第364条第3項	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計画 内容	○土地及び家屋の異動データの入力・編集 ・土地～その年中の異動(所有権移転、地目変更、 分合筆、地積訂正等) ・家屋～その年中の異動(所有権移転、新增築、 滅失等)	土地異動修正編集・図面作成 家屋異動修正編集・図面作成	土地異動修正編集・図面作成 家屋異動修正編集・図面作成	土地異動修正編集・図面作成 家屋異動修正編集・図面作成	土地異動修正編集・図面作成 家屋異動修正編集・図面作成	土地異動修正編集・図面作成 家屋異動修正編集・図面作成
	事業費(千円)	7,000	1,400	1,400	1,400	1,400
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	7,000	1,400	1,400	1,400	1,400	
実績 事業費	事業費(千円)	6,875	1,964	1,344	1,015	1,313
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,875	1,964	1,344	1,015	1,313	
関連 事項	(特定財源の詳細等)					
	【評価・実績】	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数 784件 家屋異動修正編集・図面作成 異動件数 57件 異動処理実施率 100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数 555件 家屋異動修正編集・図面作成 異動件数 68件 異動処理実施率 100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数 334件 家屋異動修正編集・図面作成 異動件数 52件 異動処理実施率 100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数 210件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数 325件 異動処理実施率 100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数 596件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数 115件 異動処理実施率 100%
		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 土地300件、家屋100件	土地300件、家屋100件	土地300件、家屋100件	土地、家屋異動全件処理	土地、家屋異動全件処理
		年度達成率 140%	96%	73%	94%	89%
	全体達成率 28%	47%	62%	81%	98%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	固定資産台帳経年変化補正更新委託業務	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路 至尊
		評価者 作成者 職氏名	課税係長	池田 俊隆

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町内に所在する固定資産(土地・家屋)の所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	土地・家屋データ異動件数								
【抱える課題やニーズは】	所有する土地・家屋情報の正確な把握、適正な課税	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	土地・家屋の情報を画像データとマッチングして管理するとともに、異動情報によるデータ更新を行い最新の状態を維持することで、正確な課税客体を把握する。	① 土地異動件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>596件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>596件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	596件	実績値	596件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	596件										
実績値	596件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	課税客体データを正確かつ効率的に管理し、固定資産税の適正な課税を維持する。	② 家屋異動件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>115件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>115件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	115件	実績値	115件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	115件										
実績値	115件										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①データ更新業務	土地・家屋における年間の異動情報(登記済通知書など)を管理用コンピュータに入力し、地番図・家屋図データの更新を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	毎年変化する土地・家屋の適正な把握・管理において必要であり、この事業を実施しない場合、課税誤りや固定資産税課税明細書への不正確な表示の発生など、適正な課税に支障を来たすため、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	年間の異動情報を100%反映させることで、土地・家屋の正確な把握及び適正な課税に有効であった。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	専門業者に委託することで、正確かつ効率的に作業が実施された。また、コンピュータによる図面管理は、課税客体の検索や資料出力等がストレスなく行えるため、職員の実務面において作業の軽減が図られ、時間短縮にも大きな効果を得ている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

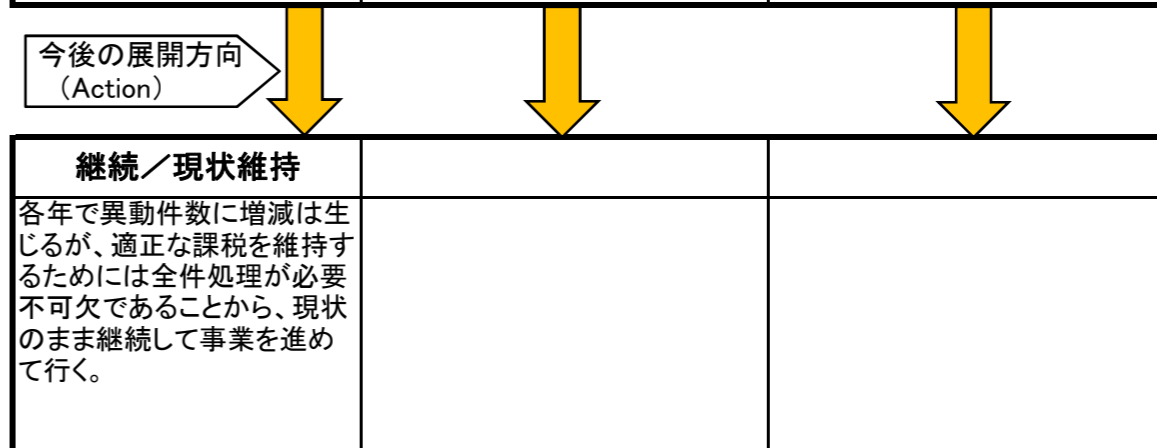
公平	判断の理由	土地・家屋の異動について全件更新を行うことにより、固定資産税が適正に課税されていることから、公平と判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
土地・家屋の異動は常に生じるため、これらを正確かつ効率的に管理するため、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		



※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0301004

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	4 財政の安定化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	エルタックス審査システム導入事業	見直し年度		
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	1 総務課	
事業指標	課税事務の電子化の推進		#N/A	
事業目標	住民税年金特別徴収業務の実施・運用、国税データ連携業務の実施・運用、電子申告受付業務開始	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	1 ⇒地方税法 321の7の2 他	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	エルタックス審査システム導入 ・住民税年金特別徴収業務 ・住民税国税データ連携業務 ・地方税電子申告業務(平成23年度以降適時に導入検討)		エルタックス審査システム導入 (住民税年金特別徴収業務) エルタックス審査システム運用 (利用料、会費)	エルタックス審査システム導入 (住民税国税データ連携業務) エルタックス審査システム運用 (利用料、会費、運用負担金)	エルタックス審査システム運用 (利用料、会費、運用負担金)	エルタックス審査システム導入 町民税法人電子申告受付 給与支払報告書電子申告受付 償却資産電子申告受付 エルタックス審査システム運用 (利用料、会費、運用負担金)	
	事業費(千円)	6,149	0	1,780	1,659	685	2,025
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,000		1,000			
一般財源	5,149		780	1,659	685	2,025	
実績事業費	事業費(千円)	4,893	0	1,630	716	631	1,916
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	1,000		1,000				
一般財源	3,893		630	716	631	1,916	
関連事項	(特定財源の詳細等) ・(財)北海道市町村 振興協会助成金	【評価・実績】	(実施内容等) エルタックス審査システム導入 (住民税年金特別徴収業務) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム導入 (住民税国税データ連携業務) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム導入 (地方税電子申告業務) エルタックス審査システム運用	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値		住民税年金特別徴収業務開始	住民税国税データ連携業務開始	審査システム運用	電子申告受付業務開始
		年度達成率	#DIV/0!	92%	43%	92%	95%
		全体達成率	0%	27%	38%	48%	80%
	事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	エルタックス審査システム導入事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路 至尊
		評価者 作成者 職氏名	課税係長	池田 俊隆

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(納税義務者、申告義務者)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①年金特別徴収、確定申告データ送受信数 ②電子申告利用件数(受付業務開始⇒H24.11.26～)								
【抱える課題やニーズは】	・税制改正に基づく対応(年金特別徴収、国税データ連携の制度化) ・納税者の町税申告における利便性向上 ・町税における課税事務の効率化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電子情報技術を活用することで、納税者の町税申告における負担軽減を図るとともに、町税の課税事務を円滑に実施する。	①【年金特別徴収データ】 ⇒1,375人分 【確定申告データ】 ⇒1,092人分	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2,467人分</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2,467人分</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	2,467人分	実績値	2,467人分	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	2,467人分										
実績値	2,467人分										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	・町税申告における納税者の利便性向上 ・町税の課税事務における正確性を確保 ・効果的、効率的な行政運営	②【電子申告利用件数】 ・法人町民税 ⇒ 30件 ・給与支払報告書 ⇒ 52件 ・償却資産申告 ⇒ 25件	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>107件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>107件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	107件	実績値	107件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	107件										
実績値	107件										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①システムの運用(年金特徴、国税連携)	民間ASP業者を介し、エルタックス審査システム(住民税年金特別徴収業務、確定申告データ受信業務)の運用を図った。									
	②システムの導入・運用(電子申告)	運用中のエルタックス審査システムに「地方税電子申告業務」を追加導入し、町税の電子申告受付業務を開始した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	税制改正による個人住民税の年金特別徴収実施、国税における確定申告データの伝送化、給与支払報告書の電子的提出義務化(H26.1～)により、本システムの運用が必須である。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本システムの運用により、年金特別徴収の適正な実施、国税とのデータ連携が有効に機能し、個人住民税における課税事務の効率化が図られている。また、町税の電子申告受付開始により、納税者の利便性向上が図られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本システムの運用にあたって、民間のASP業者を利用することにより、事業費の抑制が図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	制度改正に伴う事業であり、新たに受益者に負担を求めるべきものではないことから、公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

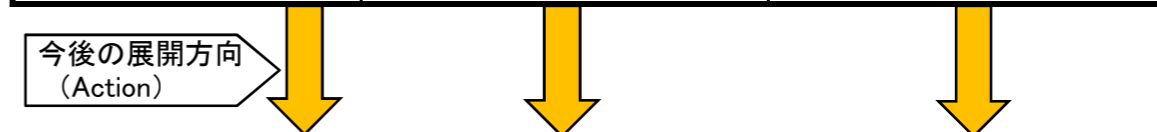
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
納税者の利便性が向上し、町税の課税事務における正確性の確保、効率的な実施が図られていることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持
	納税者の利便性向上や税務行政の効率化を維持するため、本システムを継続運用して行く。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302001

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事業優先度		B	
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬施設整備事業		見直し年度	平成24年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設の適切な維持管理		関係課	#N/A		
事業目標	維持等工事25件		ハード/ソフト事業区分	1	ハード事業	
住民参加	2		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	<p>○ホテル施設整備工事 温水ボイラー取替工事、浴室空調機取替工事、 露天風呂改修工事、温泉ポンプ整備・入替工事、 特殊浴場ライナーリフト取替工事、サウナ風呂修繕、 暖房・給湯等ポンプ取替工事、客室等テレビ更新事業、 温泉設備修繕、床暖用熱交換器取替工事 浴槽濾過循環ポンプ等取替工事 4・5階廊下床張替修繕 照明設備改修工事(LED化 594灯) プロパンガス気化装置本体交換工事 中央監視盤更新工事</p>					
	温水ボイラー取替工事(1基) 浴室空調機取替工事 露天風呂改修工事 ※温泉ポンプ入替工事(追加分)	温泉ポンプ入替工事 特殊浴場ライナーリフト取替工事 送迎バス更新(中古)、熱交換器取替 工事、温泉揚設備等落雷復旧工事、 温泉ポンプ深度変更工事、 客室等テレビ更新事業 温泉空調機取替工事	サウナ風呂修繕、 温水ボイラー取替工事(1基) 床暖用熱交換器取替工事、 浴槽濾過循環ポンプ等取替工事 4・5階廊下床張替修繕	温泉ポンプ入替工事 温泉湯張りポンプ取替工事	浴槽濾過循環ポンプ等取替工事 (6基) 床暖用熱交換器取替工事 照明設備改修工事(LED化 594灯) プロパンガス気化装置本体交換工事 温泉ポンプ入替工事 中央監視盤更新工事	
事 業 費 (千円)	111,305	11,300	42,810	17,300	4,830	35,065
財 源 内 訳	国庫支出金 4,800 道支出金 0 地方債 11,000 その他 14,598 一般財源 80,907	11,300	4,800 14,598 23,412	17,300	4,800 30	6,200 28,865
事 業 費 (千円)	107,214	11,550	42,449	17,126	1,659	34,430
財 源 内 訳	国庫支出金 5,321 道支出金 0 地方債 24,200 その他 15,040 一般財源 62,653	11,550	5,321 14,599 22,529	17,000 126	1,200 441 18	6,000 28,430
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 経済危機対策臨時交付金 4,800千円 建物災害共済金 14,598千円 【評価・実績】	(実施内容等) 温水ボイラー取替工事(1基) 5,765千円 浴室空調機取替工事 3,255千円 露天風呂改修工事 1,396千円 温泉ポンプ入替工事 1,134千円 上記4件の工事を行った。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 温泉ポンプ入替工事 3,360千円、特殊ライナーリフト取替工事 2,699千円 送迎バス更新(中古) 8,820千円、熱交換器取替工事 4,838千円 温泉揚湯設備等落雷復旧工事 14,598千円 温泉ポンプ深度変更工事 2,600千円 客室等テレビ更新事業 2,121千円 温泉空調機取替工事 3,413千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) サウナ室(男女)修繕工事 2,888千円 温水ボイラー取替工事 5,670千円 床暖用熱交換器取替工事 1,470千円 浴槽濾過循環ポンプ等取替工事 5,250千円 4・5階廊下床張替修繕工事 1,848千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 温泉湯張りポンプ取替工事 1,218千円 ろ過器制御盤タッチパネル更新工事 44.1千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 浴槽濾過循環ポンプ等取替工事 2,929千円 床暖用熱交換器取替工事 1,470千円 照明設備改修工事 18,532千円 プロパンガス気化装置本体交換工事 1,614千円 温泉ポンプ入替工事 3,885千円 中央監視盤更新工事 6,000千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 年度達成率 全体達成率 事業進捗状況	工事等4件 102% 10% ☆☆☆☆	工事等8件 99% 49% ☆☆☆☆	工事等5件 99% 64% ☆☆☆☆	工事等2件 34% 65% ☆☆☆☆	工事等6件 98% 96% ☆☆☆☆

事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路 至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松 賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	温泉施設の適正管理		
【抱える課題やニーズは】	塩害等による施設設備の腐食及び経年による老朽化に対する施設整備		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	温泉施設としての適正な維持管理		① 設備改修等箇所件数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	充実した施設整備を図る			目標値	6件
			実績値	6件	
			達成度	100.0%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	浴槽濾過循環ポンプ等取替工事	浴槽濾過循環ポンプは、経年により腐食が激しく、消耗部品が製造中止となっており、平成22年度に他社メーカーのポンプへ一部取替していますが、未整備となっている6基分についても、取替が必要なことから工事を実施した。			
	床暖用熱交換器取替工事	ロビー床暖用の熱交換器は、経年により腐食が激しくスケールが付着して、熱効率が悪い他、ガスケットの劣化により漏水の原因にもなっていることから、取替工事を実施した。			
	照明設備改修工事	施設内設備全体が経年により、交換時期を迎えつつあり、施設の光熱費の軽減策として、また、環境資源対策として、今後、更なる需要が見込まれるLEDを用いた照明設備の取替工事を実施した。			
	プロパンガス気化装置本体交換工事	プロパン庫内にある、プロパンガス気化装置本体が、経年により更新時期を迎えており、今後、プロパン庫の室温が低下する事で、圧力も低下し厨房でのガス供給が出来ない状況となるため、交換工事を実施した。			
	温泉施設ポンプ入替工事	温泉ポンプの利用に伴い、絶縁抵抗値が低下して、揚湯不能となり入替工事を実施した。			
	中央監視盤更新工事	中央監視盤について、経年劣化等により内部損傷した可能性があり、今後誤動作、操作不能となる可能性が高くなることから、更新を実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	運営・サービスの低下等を招かないよう、施設の原状維持を保つためにも塩害による腐食箇所及び老朽化箇所の整備は必要であると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適切な温泉施設を維持するため、計画的に設備改修を進めており、有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	早期整備のため、修繕費及び維持費が抑制されているため、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	ホテル日の出岬を利用する全ての方が対象であり、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
滞在型観光施設の運営・サービスの現状維持を保つためにも、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
多用化するニーズに対応し、施設を運営するには、設備の維持を保つ必要があり、特に滞在型観光施設としての役割も担うため、効果的かつ計画的に事業を推進する必要がある。			

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302005

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	C	
単位施策	3 景観形成・環境美化・公害防止の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設解体工事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町有施設解体工事		#N/A	
事業目標	解体工事7件	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	○町有施設解体工事 旧オホーツクスキー場ロッジ・車庫解体工事 旧浴場解体工事 旧寡婦住宅・職員住宅解体工事 旧幌内保育所解体工事 日の出仲町職員住宅解体工事(1戸) 日の出北町職員住宅解体工事(1戸) 町有住宅解体工事(1戸)		旧浴場解体工事	旧寡婦住宅・職員住宅解体工事	旧オホーツクスキー場 ロッジ解体工事 車庫解体工事 旧幌内保育所解体工事	日の出仲町職員住宅解体工事(1戸) 日の出北町職員住宅解体工事(1戸) 町有住宅解体工事(1戸)
計 画 事 業 費	事業費(千円)	30,338	0	10,248	5,100	10,700
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	30,338		10,248	5,100	10,700
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,939	0	10,248	5,053	10,448
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	10,248		10,248		
	一般財源	19,691			5,053	10,448
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 旧浴場解体工事 10,248千円 ※前年度評価結果	(実施内容等) 町有施設(旧寡婦住宅・職員住宅)解体工事 5,053千円 旧寡婦住宅 1棟4戸 職員住宅 1棟2戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 旧オホーツクスキー場 ロッジ・車庫解体工事 8,033千円 旧幌内保育所解体工事 2,415千円 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 町有住宅・職員住宅解体工事 4,190千円 日の出仲町職員住宅 1戸 日の出北町職員住宅 1戸 町有住宅 1戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 年度達成率 全体達成率 事業進捗状況	#DIV/0! 0%	解体工事 1件 100% 34%	解体工事 2件 99% 50%	解体工事 1件 98% 85%
			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名 町有施設解体工事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
	評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員住宅、町有住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	老朽施設の解体								
【抱える課題やニーズは】	老朽施設の解体	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	景観形成及び環境美化	① 町有住宅・職員住宅解体工事	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3戸</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3戸</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	3戸	実績値	3戸	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	3戸										
実績値	3戸										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	景観形成及び環境美化	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	町有住宅・職員住宅解体工事	町有住宅1戸、職員住宅2戸を解体した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経年による老朽化が進み、長期間利用のない、大規模な改修を必要とする施設であることから景観形成及び環境美化を図るためにも解体する必要があると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	経年による老朽化が激しい施設で、景観形成及び環境美化を図るための解体であることから、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札によって事業費が抑制されており、コストに見合った効果が得られていると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

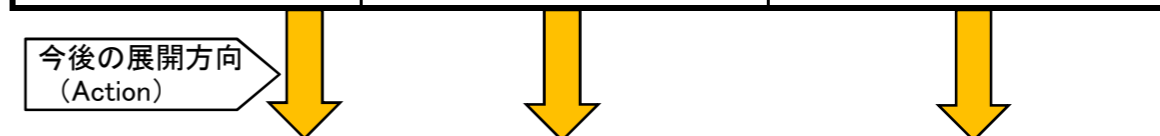
公平	判断の理由	景観形成及び環境美化を図ることを目的とした老朽施設の解体であるため、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
解体工事を行った事で景観形成及び環境美化を図ることができ、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		



今後の展開方向(Action)		
継続/現状維持		
住環境を整備するために長期間利用のない老朽施設の解体撤去を実施しており、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0302011

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	職員住宅改修工事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	職員住宅(末広町2区・日の出仲町職員住宅)改修工事	関係課	#N/A	
事業目標	職員住宅改修4棟8戸	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○職員住宅改修工事 末広町2区職員住宅(1棟3戸) 日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1棟2戸)		末広町2区職員住宅1棟3戸 浴室脱衣室改修・建具工事 内部仕上工事・屋根等塗装工事		日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 内部改修・屋根改修工事	日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1戸) 内部改修・屋根改修工事	
	事業費(千円)	24,000	0	8,000	0	6,000	10,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	24,000		8,000		6,000	10,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	23,615	0	7,875	0	5,964	9,776
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	23,615		7,875		5,964	9,776	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		職員住宅改修工事(末広2区職員住宅) 7,875千円		日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 内部改修 5,964千円	職員住宅改修工事 9,776千円 日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1戸) 内部改修	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値		1棟3戸		1棟2戸	2棟3戸	
	年度達成率	#DIV/0!	98%	#DIV/0!	99%	98%	

事業名	職員住宅改修工事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	職員住宅改修
【抱える課題やニーズは】	住宅内外部の老朽化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な住環境の整備	① 職員住宅改修工事	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な職員住宅の維持管理		目標値 3戸
			実績値 3戸
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	職員住宅改修工事	日の出町職員住宅1棟2戸及び1戸の内部改修工事を実施する。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	職員住宅を整備することにより、職員住宅としての活用が推進されるとともに、本町における住宅難の解消にも繋がるため、計画的に事業を進める必要があると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	住環境整備を進め、入居者を確保しているため有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	低コストな設計により事業費の抑制に努め、改修工事を行ったことにより、良好な住生活の確保及び入居者確保が図られており、コストに見合った効果は得られていると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

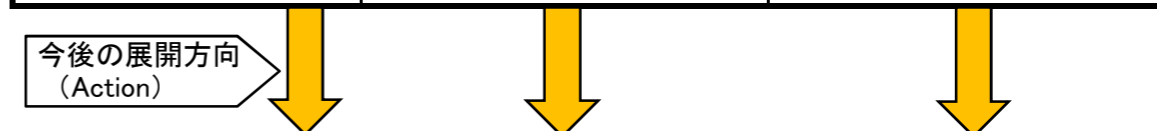
公平	判断の理由	職員住宅を整備し、入居者を確保していることにより、本町全体の住宅難の解消にも繋がるため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
改修工事により施設が延命化され、入居者の確保も図られたことから、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
住環境を整備し、施設の延命化を図るためにも、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0302013

政策目標	4 うるおい・雄武	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	役場庁舎設備整備事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	地下重油タンクライニング工事		#N/A	
事業目標	1基	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	→	
住民協働		関係個別計画名		

全 体 計 画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	役場庁舎地下重油タンク内面ライニング工事					地下重油タンクライニング工事
	事業費(千円)	1,280	0	0	0	1,280
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,280				1,280	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,134	0	0	0	1,134
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,134				1,134	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値					1基
	年度達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	89%

事業名	役場庁舎設備整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	地下重油タンクの整備	
【抱える課題やニーズは】	適切な施設の維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な施設の維持管理	① 地下重油タンクライニング工事	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な施設整備を図る		目標値	1基
			実績値	1基
			達成度	100.0%
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	地下重油タンクライニング工事	役場庁舎地下重油タンク内面全体の強化プラスチック被覆工事を実施する。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	役場庁舎の適正な維持管理を行うためにも必要であると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	役場庁舎地下重油タンク内面全体の強化プラスチック被覆工事を実施したことにより、地下重油タンクからの重油流出を防ぐ措置を講じることができたことから有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	低コストな設計により、事業費の抑制に努め、コストに見合った効果が得られていると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他

(4)事務事業の公平性

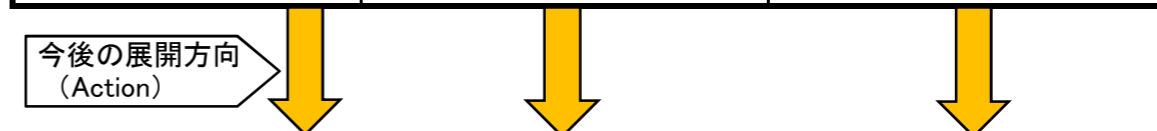
公平	判断の理由	すべての方が利用するため公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地下重油タンクの工事を実施したことにより、重油流出を防ぐ措置が講じることができ、適正な施設整備を図ることができた。		



終了		
----	--	--

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302017

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	公用車更新事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	共有車両整備数	関係課	#N/A	
事業目標	10台(車両更新4台、アンプ・スピーカー設置6台)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	○共有車両購入 ライトバン1台、乗用車2台 軽トラック1台	ライトバン1台更新			乗用車2台更新 軽トラック1台更新	アンプ及びスピーカーの設置 6台
	○公用車音響設備整備 4台 アンプ及びスピーカーの設置					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	11,550	2,000	0	0	8,550
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	11,550	2,000			8,550	1,000
実 績 事 業 費	事業費(千円)	11,000	1,720	0	0	8,187
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	11,000	1,720			8,187	1,093
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		トヨタプロボックスバンDX 1台購入		乗用車 2台更新 軽トラック 1台更新 8,187千円	アンプ及びスピーカーの設置 7台 1,093千円
			※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	1台		3台	6台(アンプ・スピーカー)
		年度達成率	86%	#DIV/0!	#DIV/0!	96%
	全体達成率	15%	15%	15%	86%	95%
	事業進捗状況	☆☆☆			☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

事業名 公用車更新事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
	評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公用車	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	アンプスピーカーの設置数								
【抱える課題やニーズは】	公用車の整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	有事等の際に対する町民周知用車両として活用する。	① 設置数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6台</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>7台</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>116.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	6台	実績値	7台	達成度	116.7%
目標年度	平成24年度										
目標値	6台										
実績値	7台										
達成度	116.7%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	公用車にスピーカー等を設置し、防災無線の周知とは別にきめ細やかな周知を行うことができる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	公用車用スピーカー購入	7台の公用車にスピーカー等を設置するため、入札を実施し購入設置を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公用車車両にスピーカー等を設置することにより、有事の際に町民周知用車両として活用できることから、必要と判断する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	公用車が町民周知用車両として活用できることから、有効と判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	機種を選定等により事業費の抑制に努め、コストに見合った効果が得られていると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

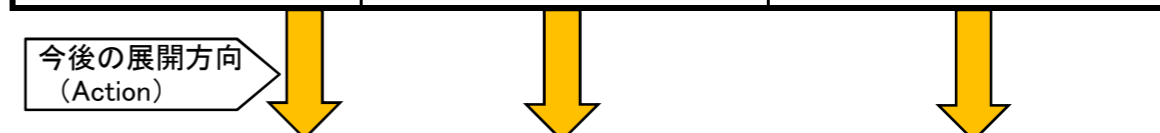
公平	判断の理由	公用車が町民周知用車両として活用され、全ての人が対象となるため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公用車にスピーカー等を設置したことにより、きめ細かな周知を行うことができる。		



継続/現状維持		
公用車の更新整備については、今後も効果的、効率的に事業を推進する必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302018

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	役場庁舎維持管理事業(庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託)	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	庁舎の維持管理・美観を保つ		#N/A	
事業目標	庁舎ガラス清掃・床面ワックス掛け業務委託	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計	役場庁舎維持管理事業 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託
計画	事業費(千円)	2,048	366	367	367	388
事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,048	366	367	367	388
実績	事業費(千円)	1,833	366	357	219	387
事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,833	366	357	219	387
関連	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託	(実施内容等) 床ワックス掛け業務委託	(実施内容等) 床ワックス掛け業務委託	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け 業務委託 504千円
事項	【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 年度達成率	業務委託 100%	業務委託 97%	業務委託 60%	業務委託 100%
						90%

事業名	役場庁舎維持管理事業(庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託)	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎及び別館	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	庁舎及び別館の維持管理	
【抱える課題やニーズは】	庁舎及び別館の耐久維持を図るための管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設の耐久性及び美観を保つために定期的にガラス清掃・床面ワックス掛けを行う。	① 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	目標年度	平成24年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	庁舎及び別館の現状を維持し、延命化を図る。	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	庁舎清掃に精通している業者に庁舎ガラス・床タイル及びカーペットの清掃業務を委託した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	役場庁舎及び別館の適正な維持管理を行うためにも必要であると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		日常の清掃できない箇所についても、ガラスや床面清掃を行うことで、美観及び耐久性を保つことができたことから、有効であると判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		庁舎清掃業務委託先に発注することにより、事業費が抑制されており、コストに見合った効果が得られていると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		役場庁舎及び別館を利用する全ての人を対象となるため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設の美観及び耐久性を保ち維持管理するためには、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向(Action)		
継続/現状維持		
庁舎及び別館の原状維持を保つためには、今後も継続が必要である。		

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302022

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	3 地方分権型行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	車両運行業務民間委託事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	12 教育委員会教育振興課	
事業指標	バス・給食配送車・管理運行業務		5 保健福祉課	
事業目標	スクールバス4台、生涯学習バス・福祉バス各1台、給食配送車2台の一括運行管理業務	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	○バス・給食配送等の運行管理業務 スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	
	事業費(千円)	132,100	25,000	26,775	26,775	26,775	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	132,100	25,000	26,775	26,775	26,775	
実績事業費	事業費(千円)	139,016	26,433	27,933	28,283	28,169	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	139,016	26,433	27,933	28,283	28,169	
関連事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等8台の運行管理の一括民間委託を実施。	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等8台の運行管理の一括民間委託を実施。	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、 生涯学習バス、福祉バス及び臨時バスの運行管理の一括民間委託を実施。	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、 生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託。	
		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	委託台数8台	委託台数8台	委託台数8台	委託台数8台	委託台数8台
		年度達成率	106%	104%	106%	105%	105%
	全体達成率	20%	41%	63%	84%	105%	
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	車両運行業務民間委託事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内児童・生徒・一般町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	民間委託台数								
【抱える課題やニーズは】	円滑な運行及び輸送業務を行う車両の老朽化及び腐食による修繕費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	8台	実績値	8台	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	8台										
実績値	8台										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	業務委託	スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の一括車両運行業務の民間委託【平成24年度～平成26年度まで(3年間)の長期継続契約】の締結									
	業務委託変更契約	中学校冬期間スクールバス2便増便(委託料の増額)に伴う変更契約の締結									
	車両整備	バスステップヒーターの水漏れやフェルトンク交換などの対応修繕の実施。夏タイヤ6本、冬タイヤ12本を購入した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経費節減及び円滑な運行管理を実施するには、引き続き民間委託が必要であると判断する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	一括民間契約を締結することにより、柔軟かつ円滑な運行及び輸送業務を行うことができ有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 下回る	
/課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	民間に委託したため、人件費等の抑制を図ることができ、コストに見合った効果が得られたと判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> その他	
/課題あり		

(4)事務事業の公平性

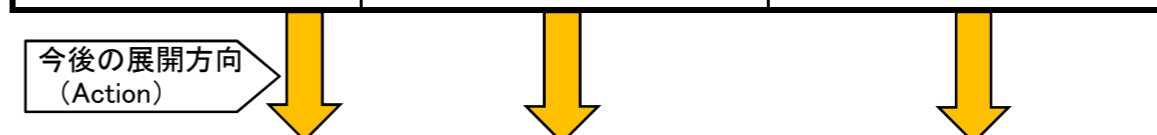
公平	判断の理由	車両運行対象者全ての方が対象であり公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> その他	
/公平でない		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
効率的な経費削減を図るためにも、計画通り事業を継続する必要がある。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	効果的な財政削減及び車両の運行・輸送業務の円滑化を図るためには、計画通り事業を継続する必要がある。	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302024

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成25年度 ・旧林務署公宅屋根改修(2棟4戸) 2,400千円
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設整備事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	住環境の整備		#N/A	
事業目標	3棟6戸	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	旧林務署公宅購入 3棟6戸 旧林務署公宅内部改修 3棟6戸					旧林務署公宅購入 3棟6戸 旧林務署公宅内部改修 3棟6戸
	事業費(千円)	26,000	0	0	0	26,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	26,000				26,000
実 績 事 業 費	事業費(千円)	25,358	0	0	0	25,358
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	25,358				25,358
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				3棟6戸
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98%
		全体達成率	0%	0%	0%	98%
	事業進捗状況				☆☆☆☆	

事業名	町有施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	一般町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	旧林務署公宅購入及び公宅内部改修								
【抱える課題やニーズは】	本町においては住宅不足が深刻な状況であり、町営住宅は収入基準が入居要件としてあるため、収入により制約を受けることのない町有住宅の整備が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	旧林務署公宅を購入、改修し、誰もが町有住宅として活用することにより、収入要件等において町営住宅に入居できない方も入居を可能とし、住宅不足が緩和される。	① 旧林務署公宅購入及び公宅内部改修	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6戸</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6戸</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	6戸	実績値	6戸	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	6戸										
実績値	6戸										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	旧林務署公宅を購入、改修し、町有住宅として活用することにより、住宅不足が緩和され、収入要件等において町営住宅に入居できない方も入居を可能とし、誰もが入居出来る住宅とする。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	旧林務署公宅購入	北海道と協議を実施し、旧林務署公宅3棟6戸を購入した。									
	町有住宅改修工事	旧林務署公宅内部を整備した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	旧林務署公宅を購入整備することにより、町有住宅としての活用が推進され、本町における住宅不足の解消にも繋がるため、計画的に事業を進める必要があると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	住環境整備を進め、入居者を確保しているため有効であると判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	低コストな設計により事業費抑制に努め、改修工事を行ったことにより、良好な住生活の確保及び入居者確保が図られており、コストに見合った効果は得られていると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

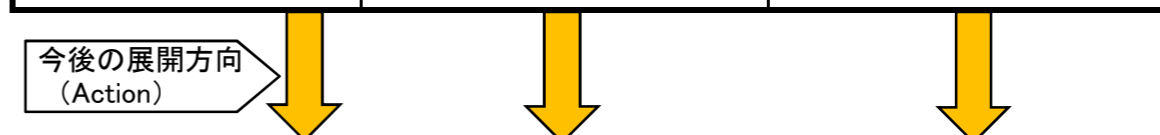
公平	判断の理由	旧林務署住宅を整備し、入居者を確保していることにより、本町全体の住宅不足の解消にも繋がるため、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
旧林務署公宅購入、改修工事を実施したことにより、入居者の確保も図られたことから、今後も計画的に事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
住環境を整備し、住宅不足の解消にも繋がることから、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止